

特定非営利活動法人神奈川災害ボランティアネットワーク  
2017年度(平成30年度)第4回運営委員会議事録(案)

日時 2月27日(火)18時30分～20時30分

場所 かながわ県民活動サポートセンター11階コラボスタジオ

\*17時～18時 KSVN内緊急連絡網の訓練を兼ねた講習(初歩)災害情報、ICTやFacebook等の初歩講座開催しました。8名参加。

参加者 河西・水島・植山・高坂・市原・鈴木・橋本・武藤・川辺・早福・齋藤(明)・塩沢  
高松・山中・宇井・齋藤(勉)

欠席者 事前連絡あり 大野・菅野・丸・丸山・森・大田・仁藤・大塚  
事前連絡なし 阿部・大石・乾・金子・大河内・田口・大垣・小泉

時間になったので河西理事長に開会のあいさつから運営委員会を開始した。

議長を水島副理事長とし経過報告を高坂副理事長が行った。別紙参照。

委員会報告として図上訓練委員会の橋本委員長から書面での報告があった。別紙参照。

講座委員会から植山委員長より書面と口頭での報告があった。別紙参照。

次に議題にはいり報告と論議を行った。

1. 2018年度総会までの日程と活動内容の確認について高坂副理事長より説明があり6月12日(火)総会までの日程と審議事項を確認した。  
3月27日(火)に18時から30分間第5回理事会を開催することになった。それまでに各団体及び委員会より2017年度の活動報告と2018年度の活動方針及び日程等について提案してもらうこととした。
2. 役員候補選考委員会の立ち上げについて高坂副理事長より説明があった。  
論議の結果選考委員の届けを3月20日(火)までにすることが決まった。
3. 3月8日(木)4者協・支援室開設訓練について武藤委員長より説明があった。  
この訓練を有意義なものとするために3月6日(火)～7日(水)に独自訓練を行うこと、訓練対象の市町を明らかにし協力を求めることとした。  
なお緊急連絡網の確立や情報訓練のやり方について工夫する必要があるという意見が出された。
4. 3月14日(水)首都直下地震時の災害ボランティア活動連携訓練について植山副理事長より説明があった。別紙参照。  
東京や静岡の組織的な訓練などについて神奈川としても組織的に取り組む必要があるのではないかという意見が出されたが今後の課題として検討することになった。
5. 3月下旬までの各行事について高坂副理事長よりチラシをもとに説明があり参加協力があつた。  
特に3月11日(日)午後1時からかながわ県民活動サポートセンター2階ホールで開催される「市民活動フェア2018参加企画」の防災減災シンポジウムへの参加が要請された。  
その他としてやまと災害ボランティアネットワーク、ひらつか災害ボランティアネットワークからチラシにもとづく説明があつた。
6. 3月27日(火)第5回理事会について高坂副理事長よりその予定されている内容について説明があつた。「神奈川レスキューサポート・バイクネットワーク」より加盟申請あることが示された。
7. 各委員会からの発言及びその他について特に発言はなかつた。

以上 全ての議題を論議し20時30分に第4回運営委員会を終了した。